

シンポジウム

危機に瀕する再生不可能な北海道の価値

— 風力発電事業は負の遺産となる —



全道で環境影響評価書確定を待つ大型風力発電事業が目白押しですが、これらの風車建設はかけがえない北海道の自然や景観を損ない、安全な生活を脅かす可能性があります。道民として許容できる再エネのあり方を探ります。

日時：2019年6月16日（日）13:30～16:30（13:00より受付）

会場：北海学園大学3号館2階20番教室（地下鉄東豊線「学園前」下車）

参加費：500円（資料代）



第1部：講演

1 北海道における風力発電事業の概況

石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表 安田秀子氏

2 風車騒音による健康影響と石狩湾新港洋上風力発電事業のリスク評価

北海道大学大学院工学研究院 環境創生工学部門 環境管理工学分野
大気環境保全工学研究室 助教 田鎖順太氏

3 小型風力発電による健康影響と道北の風力発電建設計画

風力発電の真実を知る会代表 佐々木邦夫氏

4 風力発電用風車が野鳥に与える影響

日本野鳥の会札幌支部副支部長 猿子正彦氏

5 支笏洞爺国立公園・世界ジオパークとその周辺地域への影響

北海学園大学名誉教授・北海道自然保護協会理事 佐藤謙氏

第2部：質疑応答と意見交換



問合せ先：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 安田（携帯 090-6211-1602）

Fax 0133-74-6198 E-mail h.yasuda1007@gaea.ocn.ne.jp

共催：（一社）北海道自然保護協会・石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会・
日本野鳥の会札幌支部・what's・銭函海岸の自然を守る会

